

「仙台市立学校の講師」という選択肢

「仙台市の先生になりたい！」という思いを講師から始めてみませんか



仙台市では

「仙台市若手教員育成事業」に基づく独自の充実したサポート体制を実施

1. 仙台市教員プレゼミナール ⇒ 講師登録希望者・教員採用選考名簿登載者対象

- ・初めて教壇に立つ方等に対し、年度始めに必要な初歩的な事柄を希望制で学べる取組です。
- ・着任までの不安を減らし、教員生活に安心して臨めるようにサポートします。
- ・同じ志を持った方々で情報共有もできる貴重な機会です。

プレゼミナール Web ページはこちら



2. 新規学卒者等サポート研修・訪問 ⇒ 講師任用後のサポート①

- ・初めて講師になった先生方へ、教育センターが学校訪問や研修を行い、授業づくりや教員生活について支援をします。
- ・講師経験5年目まで、学校の要請や希望に応じて、学校訪問を行い、必要な支援をします。

3. 教育センター各種研修・相談事業等 ⇒ 講師任用後のサポート②

- ・教育センターで実施する「臨時的任用職員研修」や「授業づくり研修」「トピック研修」等を受講することができ、先生としてのスキルや力量の向上を目指すことができます。
- ・様々な相談体制を整え、教員生活への助言や支援を行います。

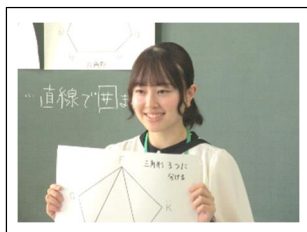
仙台市若手教員育成事業 Web ページはこちら



【「仙台市若手教員育成事業」に関する問い合わせ】

仙台市教育センター 教職研修班 電話 022-251-7443

<13人の先輩方の声>



学生時代は不安から教採を受けませんでした。秋の教育実習での手応えをきっかけに冬に講師登録をしました。昨年度は2校で勤務し、大変な時も温かい先生方に支えられながら学校の1年間を見通すことができました。今は先生方との輪も広がり、見守ってもらっている実感があります。

講師からスタートした経験は、大きな安心材料となり正式採用された今にとっても活きていると実感しています。これから踏み出す皆さんに『迷わずに始めてごらん!』と伝えたいです。

〈将監小 佐々木彩香 教諭〉

講師を始めるに当たり多少不安でしたが、「自分も誰かのためになっている」という、やりがいを経験することができました。特に「できた」の瞬間を、こどもたちと一緒に喜べたときは格別でした。

また、何でも気軽に相談できる先生方との出会いも貴重なものでした。今でもつながりを持たせていただいています。先生方との関わりから「仙台市の先生の一員になっている」という実感が芽生えてきました。私にとって、「自分の夢に近付いた」大切な時間でした。

〈六郷小 佐々木美梨 教諭〉



2次試験の結果を見てすぐに講師登録をしました。1校目では特別支援学級の担任としての仕事を知り、2校目ではICTを学ぶなど、この講師時代の2年間の経験があったからこそ、採用となった今年は見通しを持ちながら安心して通常学級の担任をすることができたと思います。

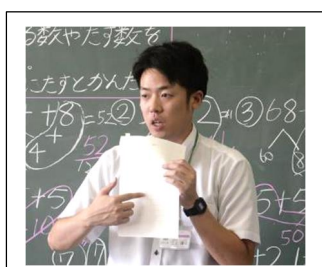
私は母校である仙台市の小学校の恩師に憧れて仙台市を受け続けました。初めてのことで迷いもあるかもしれませんが、講師時代に得るものは大きいです。希望を持って一緒に頑張りましょう。

〈八木山小 堀江沙希 教諭〉

今振り返ると、講師としての一年間はとても貴重な時間でした。こどもたちや先生方とのつながりの中から、多くのことを学びました。中でも、2年生担任として学級経営を行えたことは、現在5年生の担任をしている、様々な場面で生かすことができ、自分の支えにもなっています。

これから講師として教壇に立たれる皆さんには「自分の信じた道を諦めずに、できることを続けて行ってほしい」と思います。全ての経験が、皆さんにとって必要な経験となることでしょう。

〈古城小 阿部海斗 教諭〉



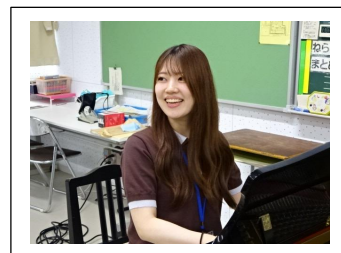
講師での経験は、今も活かしています。特に、こどもたちとの関係づくりを学んだことや、周りの先生方から温かいサポートをいただいたことなどは忘れられません。現在2年生と関わる中で、思い起こすことが数多くあります。

学生時代から「仙台市は若手教員の研修体制が手厚い」と思っていたので、教員になるなら仙台市と決めていました。仙台市の教員となった今、講師として過ごした時間は、改めて「大切な時間」だったと思います。

〈八本松小 三上穰太 教諭〉

講師経験は絶対プラスになる、というアドバイスをもらい、年明け前に登録を決めました。講師として特別支援教育に携わり、新たな気付きがあり、視点が変わりました。また、1校にほぼ一人しか配置されない教科の教員として、同教科の先輩の授業を見せていただけたことはたいへん勉強になりました。仙台市の学校は特に生徒指導はチームでやるという心強さがあります。講師をすることに不安な部分はあるかと思いますが、皆が助けてくれます。いっしょにがんばりましょう。

〈中田中 佐々木萌 教諭〉

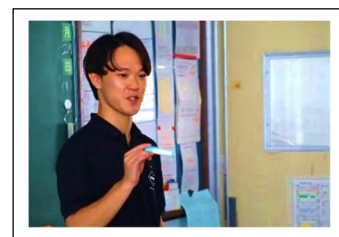


高校教員を目指して県の採用試験を受けましたが残念な結果に終わりました。その悔しさをバネに地元である仙台市で講師登録をしました。その時は1年後も仕事があるのだろうか不安だらけでした。しかし、講師経験は、授業づくりや学級担任としてのあり方、生徒指導に対する考え方などすべてが今とても役に立っています。講師1年目は8割が失敗ばかりでうまくいきませんでした。「失敗した分だけ次に生きてくる」そう信じて、失敗を恐れずやってみませんか。

〈郡山中 太田蓮 教諭〉

採用試験後、経験と自信がなく講師登録に悩み、児童館に2年間勤め、その後講師を1年経験しました。副担任として、多くのことを学ばせていただきました。今でも講師時代にお世話になった先生方に相談に乗っていただいております。この素敵なお縁に感謝しています。私は小・中・高とすばらしい先生方に出会えた地元、仙台が大好きです。転勤しても引っ越しをせず通勤できるのも仙台市の魅力の一つです。生の現場は学べることが多いので、ぜひ頑張ってください。

〈長命ヶ丘中 佐々木優衣 教諭〉



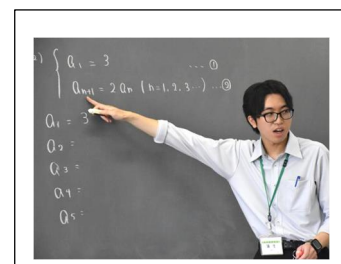
講師として市内2校で特別支援学級担任、副担任、担任を経験しました。多くの先生方との出会いにより様々な不安が払拭できました。教諭になってからは校務分掌が増え、責任も重くなりましたが今も前任校や前々任校の先生方にも相談に乗っていただいたり、助言していただいたりしています。この繋がりは講師経験から得た宝物です。また、学校の一年間の流れを体感し、学習指導や生徒指導でどう動けばよいのかも学びました。ぜひ仙台市の講師にチャレンジしてみてください。

〈五城中 小野寺彦人 教諭〉

進路選択について不安なことが多く迷っていたときに、背中を押してもらった母校に恩返しがしたくて、講師になることを選びました。

よかったのは「現場を知れる」ことです。生徒と関わることの大変さと楽しさを経験できたことで、いっそう先生になろうという気持ちが強くなりました。現在は授業で生徒の反応などの予測が立てられるようになり、講師のときの指導法も日々アップデートできるようになっており充実した毎日になっています。

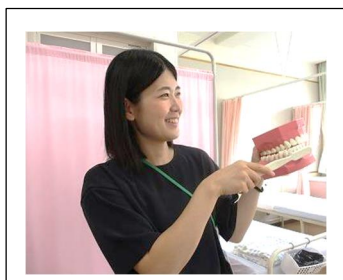
〈仙台高校 蒲生恭平 教諭〉



講師時代、同じ教科の先生に「授業をやる上での授業準備の大切さ」を強く教えてもらったおかげで、今は自信をもって授業に臨めています。また、机間指導しているときや定期考査の結果などから生徒の成長を肌で感じることができ、教員としてのやりがいも強く感じることができました。

周囲の先生からはいつも温かい言葉をかけてもらい、応援していただきました。そんな講師時代の学校に恩返しがしたくて仙台市の学校を選びました。

〈仙台商業高校 渡俊介 教諭〉



こどもたちへの教育に関わりたいという思いを持ち、看護師経験を積んでから養護教諭になるのが目標でした。講師になり、学校組織で役割を分担しながら、こどもたちが学べる土台を作っている事実を知り、覚悟が現実になったと感じました。

また、職員室内での先生たちとの関わりから、相談する相手を知り、養護教諭部会にも参加することができとても勉強になりました。

現場はとても楽しいです。ぜひ安心してチャレンジしてください。

〈上愛子小 三浦千比呂 養護教諭〉

学校での勤務を希望していた私にとって、こどもたちとの関わりは貴重な経験でした。

「給食おいしかったです」の言葉や笑顔は、大きな励みとなりました。また、先生方からも多くのことを教えていただき、そのつながりは、今も大切にしています。

栄養教諭はすてきな仕事なので一緒に頑張りましょう。

〈折立小 菊池麻紀 栄養教諭〉

